

## 第4回 稲敷市事務事業評価 外部評価委員会

日時：令和2年12月18日（金）午後2時00分～  
場所：稲敷市役所本庁舎 3階 321会議室

発言者	発言内容
-----	------

### 1. 開会

事務局	本日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。只今より稲敷市事務事業評価外部委員会第4回会議を始めさせていただきます。
-----	--

### 2. 委員長あいさつ

事務局	それでは、お配りした会議次第に沿って「2. 委員長あいさつ」を委員長、よろしくお願いします。
委員長	本日もよろしくお願いします。前回、外部評価の在り方の議論をした結果いくつかの論点が出てまいりました。議会の報告をどうするか、廃止・休止だけでなく拡充といったポジティブな視点を盛り込めないか、また、木を見て森を見ずにならないようになど、この評価に対するご意見もいただきました。今回は前回の議論を踏まえて、かなり具体的な話が出来ると思いますのでよろしくお願いします。

### 3. 報告

#### (1) 第3回外部評価委員会 議論のまとめ

事務局	それでは報告に入らせていただきます。進行は要綱第6条に「委員長は会議の議長となる」とありますので、委員長にお願いしたいと思います。よろしくお願いします。
委員長	それでは、「3. 報告（1）第3回外部評価委員会の議論のまとめ」につきまして事務局よりご説明お願いいたします。
事務局	《資料説明》
委員長	ありがとうございます。ご意見ご質問ありますか。
副委員長	この間も申し上げたように議会との関係は必須ではないので、次善の策としてどこまで出来るかというのが大事だと思います。
委員長	ありがとうございます。デリケートな面でもありますのでこの後の報告を伺った後で本日改めて議論いただければと思います。

#### (2) 行政評価に関する議会への報告について

委員長	続きまして、前回依頼しておりました「3. 報告（2）行政評価に関する議会への報告について」事務局よりお願いします。
事務局	《資料説明》
委員長	ありがとうございます。大変興味深いですね。最後かなり具体的な提案までいただきありがとうございます。皆様いかがでしょうか。
副委員長	結論に至るまでに確認しながら進めた方が良いと思うのが、稲敷市の議会の構造です。通常、市町村議会は定例会が年4回程度あるわけですね。本会議と常任委員会が分野ごとに6つほどあって、あと予算と決算の委員会がありますよね。予算決算特別委員会となっている市町村もあるし、予算と決算が分かれている市町村もあります。あと議会の独自活動として広報委員会や議会運営委員会などがありますよね。
事務局	全員協議会は、正式に議会ではないですが、稲敷市の場合は議案として出す前に事前に審議する場として使っていることが多いです。
副委員長	それは予算ですか。
事務局	それも含め色々です。
副委員長	県の場合は、予算提案や条例関係がある際には各党派ごとの説明会をやって、本会議前に説明をします。
事務局	あとは議会に報告しなければいけない重大な何かがあれば、毎月開催しているのですが、その際に報告して相談しているという現状です。
副委員長	県の事例として、行革調査特別委員会や出資団体調査特別委員会の情報提供させていただいたのですが、そういうものはあるのですか。
事務局	調査特別委員会のようなものはないです。今年度の第1回定例会から一般質問を1問1答式に変えたいとか、議員の数を次の選挙の時に減らすなどといった形での委員会があり、調査特別委員会と実際は同じだと思います。
副委員長	では果たして、ご紹介した県の事例と同じことをやれるかということ、制度がないので、まず出来るかどうかですね。私は県の方しか知らないのですが、同じように出来るかと思って話していますが、そういう制度となれば出来ませんね。
事務局	作ることは可能です。行政の案件で特別委員会を作ることは今までなかったことはないと記憶しております。これまでも、総合計画による審議会のように、策定する際や進捗管理する際、そこに議員の方あるいは各委員会の委員長などを入れて行っていました。
副委員長	個別に報告するというのはどういうイメージで書いたのですか。
事務局	2月の全協で予算と実施計画について議会に報告する機会がありますので、それとセットで調査した冊子をまとめるのか、そのまま配付するのかということで考えていました。今後廃止する際には全協の協議案件として

	<p>こういう経緯で外部評価委員から廃止という意見がありましたので廃止しますと協議する形になると思います。</p>
副委員長	<p>出し方としては、横須賀市みたいに外部評価委員会の前に市としての方針を出すこともあるし、外部評価委員だけでやりましたという方法もあります。これは外部委員の名前を使って報告するという形でいいのですか。</p>
事務局	<p>今のところは外部評価で廃止となったものについては、1度庁議で方針を決めてその上で議会に報告をして、了承を得られたら最終決定という流れを想定しております。</p>
副委員長	<p>外部評価委員の結果を踏まえて市の方で意思決定したものと出すわけですね。</p>
事務局	<p>そうです。この方針で考えておりますがいかがですかという形になるかと思えます。おそらく、廃止になる事業について、個別に議会に報告するというところの個別というのは、廃止する事業だけ報告し、各定例会の前の全協で報告したらどうかというイメージを持っています。</p>
委員長	<p>少し確認をしたいのですが、白井市と横須賀市で、例えば白井市の休止・廃止の事業は個別に全協で報告、横須賀市は事務事業総点検は議会報告ですが、どこまで制度的な裏付けがあるものなのか、それとも非制度的な側面が強いのか、これはどちらですか。</p>
事務局	<p>今すぐにはお答えできないので調べたいと思います。</p>
委員長	<p>本格的な廃止は議会に報告とありますが、そもそも本格的な廃止があるのかということですね。本格的な廃止となる分には議会にきちんと報告しなければならないが、よほどことがない限りは、基本的には全協で資料を出して見ておいてくださいとするのが現実的かなと思います。</p>
副委員長	<p>外部評価委員はあくまで外部の評価委員であって、市の意思決定は庁議で決定すべきものですね。決定するものは横須賀市の事務事業総点検結果みたいなものです。</p>
事務局	<p>仰る通りで、外部評価委員の結果を踏まえて、市で最終の評価を決める。その評価を決めるときに本格的に廃止をするとなったものについては議会に相談するというイメージです。</p>
副委員長	<p>それは外部評価委員の結果を踏まえた庁議決定ですよということですね。</p>
事務局	<p>外部評価委員の決定をそのまま諮るのではなく、外部評価委員の評価についてはその内部評価も実施しているし、外部評価もそのあと実施していますので、その2つを踏まえて廃止かどうかを市として決め、それを議会に報告するという流れで考えています。</p>
委員長	<p>制度としては、内部評価と外部評価は独立したものであって、最後の庁議決定も独立したものなのですよ。外部評価は内部評価を参考にする</p>

	し、庁議は外部評価や内部評価を参考にしつつ決定する。それを議会に報告するという流れですよね。
副委員長	その庁議決定したものの、廃止事業をどうするかということですよ。他の市町村では廃止事業という扱いではなく、見直しや統合など、軽微なものとしている場合もあると思います。
委員長	その辺りが統合とか完了ということになるのでしょうか。
副委員長	実際思うのは、総務部の発想では廃止事業であっても、事業部の発想でいくと、なぜ廃止するのだという話になることもあり、そこをどうするかということですよ。わざわざ廃止と言わなくても事業担当課と十分に協議して、完了の手続きを踏めば良いのではないかと。
委員長	ではそのあたりのことをもう少し具体的に説明をいただくことにしましょうか。

## 4. 議題

### (1) 稲敷市行政評価の見直しの方向性について

委員長	今、議会に対する報告をいただいて、今後の検討について具体的な話もありましたが、それを踏まえた上で本日の議題に入りたいと思います。まず、議題(1)稲敷市行政評価の見直しの方向性について、今の議論を踏まえた上で事務局よりお願いします。
事務局	《資料説明》
委員長	ありがとうございます。まず①施策評価についてですが、フォーマットは茨城県の施策評価書と施策事業評価書ですね。
副委員長	対象施策は、私もこれかなと思っています。ただ、この場合のぶら下がりの事業の記載が必要かは検討した方がよいと思います。
事務局	今のこのたたき台に関してはあくまでも事務事業評価は別で考えていて、重点プロジェクトの部分は各事業が記載されているのですが、記載されている事業とは別に事務事業評価することを想定しております。
副委員長	施策評価にぶら下がっている個別事業はどこに載っていますか。
事務局	③にも載っていますし、これは全部含めています。
副委員長	そうですね。310事業あるので、その上の外部評価が1部分あるということですよ。数は合いますか。
事務局	外部評価に関しては抽出しているのですが、施策評価にぶら下がっている全事業を外部評価しているのかということとそうではないです。
副委員長	ここからまた抜くということですか。

事務局	はい。抜いているのが先ほどの外部評価の対象事業です。ただ、内部評価に関しては310事業全部を評価をしているという状況です。
副委員長	それがいくつになるのかが、分からないのではないですか。
委員長	実際に施策評価をするときにはその施策にぶら下がっている事業を見ながらと評価をしていただくこととなります。
事務局	こちらに関しては、重点プロジェクトについてはぶら下がっている事業が見える仕組みにはなっているのですが、総合戦略と行革大綱については数値目標ベースで見えるようになるので、どの事業がぶら下がっているのかについてはこの調査表だけでは見えません。
副委員長	県の場合は、後ろに事業名が書いてある上で評価するんですが、そういうやり方ではないんですね。
事務局	重点プロジェクトについては各事業が見える様式を使っているが、今の段階では総合戦略と行革大綱についてはぶら下がる事業が見えない（数値目標だけが見える）様式を使用しています。見えるようにすると事業数がかなり多くなります。そこは事務事業評価で評価してもらいたいイメージで考えています。
委員長	では事務事業評価の方まで進んでみましょうか。②事務事業評価項目について、内部評価は全事業を対象にしていますよね。
事務局	そうです。よって内部評価については、先ほどご指摘の総合戦略と行革大綱と総合計画の全ての事業が対象になります。外部評価委員会で評価してもらいたい事業は、重点プロジェクトの部分の新規と拡充事業、計画年度中に新規で新たに立ち上がった実施計画について評価することを想定しています。外部評価委員が選出する事業として、プラス10で選定できる事業の余白を作っているというのが今の提案です。
委員長	1個1個見ていきたいのですが、まず、評価項目についてはどうですか。ポジティブな部分もあるし、終了の部分もあります。
副委員長	「見直し」はどっちつかずで何をやったらいいかわからないので外した方がいいと思います。
事務局	縮小・統合が別だったのを分け、7つの項目にしています。予算との連動を考えた場合に統合した場合でも予算20%削減ということがあり得るのはどうなのかと思ったので別にしてしています。
委員長	外部評価の評価項目として、「廃止・休止が望ましい」と載っています。②の評価項目と③の評価項目はイコールで③には望ましいがついているだけという理解をしたのですが。
事務局	その通りです。

副委員長	②で廃止・休止と評価されたものが③で「廃止・休止が望ましい」とイコールになっているのですか。②で廃止としてしまうと、③の外部評価の事業の時の対象にならなくなってしまうのではないですか。
委員長	その場合は内部評価から直接庁議にいくという感じですか。
事務局	外部評価委員が選出する事業に入れるか、対象事業に②で廃止と判断したのについては外部評価で必ず評価するという形が必要ですね。
委員長	内部評価は全部やるけど外部評価は全部出来なさそうなのでいくつかピックアップするわけですが、少なくとも内部評価で廃止・休止となったものに関しては必ず外部評価にあげるということですね。
副委員長	「選出する事業」という表現で構わないけど、実際は我々が選出するのではなくて総務部が選出する扱いでいいと思う。前にも言ったようにスクラップの部分はその時決めればいい。どういうものを作ってほしいかというのはその後、事務局からあげてもらえばスクラップの分はよくて、我々が選出するというのではなくて。切り口を決めて進めてもらった上で、方向だけは示す方が良いと思います。
委員長	今の議論を資料ベースで踏まえると「資料1-1 稲敷市行政評価の見直しの方向性」の③事務事業評価の中の④外部評価委員が選出する事業10事業程度とありますが、実際には事務局提案のような形でピックアップされて、その中には内部評価の中で廃止・休止がついたものが含まれるという理解でよろしいでしょうか。
事務局	はい。
委員長	他のところはどうですか。今のは確かに大事な部分でしたね。
副委員長	これだと外部評価委員会は3年目。その後の結果はどうなりますか。
事務局	結果が出たら各委員にご報告します。
委員長	外部評価をふまえて庁議で決定されたものという形ですか。
事務局	そうですね。
副委員長	実際、これを毎年財政が予算でフォローしていくわけですね。それで結果的に何が廃止されたか、という結果はどこで受けるのですか。
委員長	それは4年目ですよ。
事務局	そうですね。4年目に出るのでその結果をフォローして外部評価委員の方に報告するようにしたいと思います。 今、副委員長の方から言われた、担当課が廃止・休止の評価をした事業というのが、この外部評価委員に選出する事業にあたることはすごくいいと思います。ただ、前回までの外部評価でも、実際のところ事務局の方で選出したりしていたのですが、担当課としてはこれまであくまでも廃止・

	休止という評価までしかしていなかったので、担当課が廃止や休止を評価したものは外部の評価もかかりますよというのをどこかに入れておくべきなのか。
委員長	つまり⑤のような形ですか。
事務局	外部評価委員が選出する事業としてでなく、担当課が廃止や休止の評価をした事業も評価するというイメージです。
委員長	今ご説明いただいたイメージは、④に含まれるのではなく⑤が出来るというイメージをしたのですが。
事務局	それでも構わないです。
委員長	要するに目に見えるようにということですね。
事務局	そうです。④の中に含めても構いませんし、⑤としてそういった事業を足すという考え方もよいかもしれません。
副委員長	見せた方がいいと思います。
委員長	そうするとフローチャートが若干変わりますね。
事務局	一方で、④に含めてもいいかなと思ったのは、担当者が外部評価にかかりたくないという気持ちから、本当は廃止・休止を選んでいたのに選ばなくなるというのもあるので、制度としてそこを決めておいた方がいいのかなと思います。
副委員長	廃止・休止の事業だとわかっているけれど、余計な負担が増えるから相手にしないでおこうかということになりかねない。④は市長が特に必要と考える事業でもいいと思いますし、外部評価委員という名前を出してもいいと思います。
委員長	では、今の時点ではそういった表現ですけど、具体的に今の議論を踏まえて改めて事務局の方でご検討お願いします。
委員長	次に、議会との関係の部分で、先ほどの議論で出てきたわけですが、本格的な廃止の場合は事前に報告ということですが、いかがですか。
副委員長	もう一息かなという気もしています。実際、議会で調査特別委員会をやるときは議会の調査特別委員会の担当と執行部の議会担当が打ち合わせをして、どんな運営をしてどうまとめるかということをしり合わせて調査特別委員会をやります。ですから執行部だけでやろうとするとこういう結論になる。あとは、会派説明をいれていくような形が必要です。
事務局	稲敷市は会派がないのです。共産党議員は1名いるのですが、茨城県のような会派というのはなくて、やるのであれば全員に説明するか常任委員会というくくりで説明することになるかと思います。
委員長	私が気になるのは、今回我々は行政評価の見直しを図っているわけで、ある程度制度として文章化する部分と文章化しない部分があると思う。議

	会との関係を文章化する部分としない部分があるというのはどうなのですかね。
事務局	他自体の事例を見ると、廃止する事業については報告している事例があるくらいです。横須賀市だけフローの中で議会というのが明確にありましたけどその他はなかったです。
委員長	廃止にする事業については議会に報告しますということで大丈夫ですか。
副委員長	それは一見親切そうで、実は他の事業を報告しないようになってしまうと思いますよ。全部報告したほうがいいと思います。
委員長	茨城県の自治体の多くが議会報告しないことが気になっています。
事務局	どう報告するかにもよりますね。
副委員長	全協で予算の説明をするのですから、時間をかけなくても簡単な報告をやればいいのでは。
事務局	阿見町のような感じですかね。阿見町は2枚にまとめていますので。
副委員長	そんな感じでいいのでは。
委員長	白井市と横須賀市は休止・廃止に関しては報告しているのですが、これは非制度的な部分なのでしょうか。だとすると副委員長が仰る通り基本的には全事業について冊子などの形で説明し、廃止・休止に関してプラスアルファで報告する形でしょうか。
副委員長	例えば廃止に関係する議員の方には個別に報告するしかない。そうであれば、全員に廃止事業はこれですあれですと報告するより、事業全体について報告したほうがいい。
事務局	廃止あるなしではなく、全体を報告するというのが副委員長のお話ですね。
委員長	次が⑤計画部局の負担軽減について、外部評価の対象が絞り込まれているわけですが、必要日数が17日と結構長いですね。今のところ外部評価は8月～12月ごろの17日間ですけど、これについてはいかがですか。
事務局	こちらについては私共でシミュレーションしてみたのでご説明いたします。
事務局	《資料説明》
委員長	ありがとうございます。3パターンありますがいかがでしょうか。
副委員長	なぜ1事業にこんなに時間がかかるのかが分からない。
事務局	今までと同じように担当課に実際にヒアリングすると、担当課が外部評価委員に事業の説明をして評価するので1事業30分かかります。
副委員長	30分かかるのですか。

事務局	説明は5分程度で、質疑応答が15分～20分程度、それから担当課が退出した後に委員の皆さんに個別で評価をしてもらってそれが5分程度、ということで30分です。
委員長	結構丁寧ですよ。ということは、やはりパターン①は厳しい気がします。終日ヒアリング5回となると、私の場合8月9月はなんとかできますが、10月11月に終日は結構厳しいし、ほかの委員も平日に丸1日5回出てくるのはなかなか難しいかなと思います。それと副委員長も仰ったとおり、そこまで時間かけなくてもいい気がします。
事務局	そうすると、前回行っていた1事業30分という時間を短縮してもう1度内容を見直した方がいいということですね。
副委員長	前もって資料を配ってもらって、もう意見が出ている段階でスタートすれば、説明も場合によってはいらないと思う。確認を取るくらいで。
事務局	確かに前は自分たちがやっている事業を担当している人がヒアリングに参加してもらっていたので熱く語ったりしていたので5分以上ということもありました。
委員長	この中で言うとパターン③に近い感じですかね。
副委員長	そうですね。なおかつ資料も前段で委員に渡しているので評価を書き寄せてもらってすり合わせだけするイメージでよいのではないのでしょうか。これは短縮していけば、パターン①でも出来るのではないかと。
委員長	今の議論で気になるのは、無駄な時間をかけないということで、確かに外部評価委員にとってもそうですけど、特に事務局にとっても評価疲れという話にも繋がってきます。だから外部評価委員の時間短縮のために事務局の方が裏でものすごく時間をかけて資料を作って下さるといふ、それはそれで本末転倒などところがある気がします。そうするとパターン①の短縮バージョンが厳しい気がします。資料の作成が厳しい気がするのです。
事務局	そちらについてはまた改めてたたき台をお見せすることになると思うのですが、第2回、第3回の外部評価委員会でお見せした調査票を見ていただいて、一覧表になっている評価表を送り返してくれるのであれば、事務局の負担も少ないと思います。事前に見て、もし質問があれば送ってくださいということをやっていたのですが、期日を決めて回答してもらえば、結構負担は軽くなります。
副委員長	口頭でのやり取りは時間がかかるからやめた方がいい。データで整理して欲しい。
事務局	やはり、前回まで担当課が出席してヒアリングを受けていましたので事業の概要が分かるパンフレットや中身のことなど、調査票に書いてあることを詳しく説明するために資料を持ってきて、皆さんに配って説明すると

	<p>ということがありました。前は委員が5名いましたので想像を超えて根掘り葉掘り聞くということはありませんね。</p> <p>今の段階のお話では、今回の見直しにあたっては、緑の実施計画と水色の事務事業評価の資料にデータがきちんと入ったものが、事業ごとに揃っていて、なおかつ評価表が別紙であり、それに評価をしてもらうイメージです。</p> <p>副委員長のお話ですとそれを受けて、事務局で何日までに返してくださいと、返してもらったものをある程度まとめて、どういうすり合わせにするかというのを外部評価委員に集まってもらって、何回かに分けてやってもらうということです。</p>
委員長	実施計画書はそもそも作られているものなのですか。
事務局	実施計画書と事務事業評価調査票は表裏一体で両方あります。
委員長	それを事務局にご説明いただいて我々が書き込む、そんなイメージ。
事務局	副委員長の説明ですと、事務局の説明も前段では不要で資料を各委員にお渡しして評価の判断をしてもらって、外部評価委員が集まるときにそのすり合わせをするということでしょうか。
副委員長	委員は3名だけですよね。
事務局	今のところ5名です。
事務局	前回、都市農村交流事業の計画と調査票が入ってしまっていて、担当課によってはまだ内容が入っていないものもあります。
副委員長	総合戦略にも関係する可能性が高い事業だと思います。人口増にも結び付くし、後々必要となる事業ともなり得るといような発想をすればいいですよ。
事務局	副委員長と委員長が求めている計画書と調査票で、すべて読み解けるような資料かどうか不安です。
副委員長	今までの経験で判断するしかないと思う。データだけもらいたい。
事務局	データだけお渡しすることも出来ますし、担当課からこの事業に対する資料を事前にお渡しすることは求められれば出来ます。
事務局	あとはメンバーの選出が大事であれば、提言の中にこういったメンバーが良いのではないかと提言をいただければ、選考で我々事務局としてはやりやすい。経験がないと出来ないという部分が非常に大きいと思います。
副委員長	関係団体から選んできたというのではどうですかね。行政をわかる人でないと。
委員長	わかる人とは例えば。

副委員長	砂金先生のような方はわかるのではないですか。
委員長	どうしても我々は耳学問な部分があって、行政の内部で働いたことがない人間ですので、実際に中身のことというのは話を伺っていて初めてわかる所がかなりあるので、副委員長のようなお立場の方が必ずいらっしゃった方がいい気がします。
副委員長	県でも私のような経歴の人で、依頼できる人はすぐには思いつきませんが考えてみます。
事務局	市内の人だけで探すのは非常に難しいということですか。
委員長	どういう人選をすべきというのは今後の検討課題で、また改めて議論させていただきますよろしいですか。

## (2) 全体のまとめ

委員長	<p>時間もそろそろですので、一旦、今日の議論を簡単にまとめさせていただきますよろしいでしょうか。たたき台ベースでまとめさせていただきますが、施策評価については基本的にはこのたたき台の感じで良いのではないかというご意見だったかと思います。</p> <p>次に事務事業評価の部分なのですが、一番大きい点として内部評価で廃止・休止という評価が付いた場合は必ず外部評価に入れるということ。ただし、入れ方がなかなか難しく④の外部評価が選出する事業をそこに送り込ませるのか、あるいはそれとは別枠でやるのか内部でご検討いただくということになったかと思います。</p> <p>それから議会への報告については、どのような方法が良いのか、また次回お示しいただければということかと思えます。</p> <p>実施期間についてはあまり議論にならなかったのですが、総合計画、総合戦略、行革を令和5年に改めて作り直すのに間に合うように3年目という理解だったかと思えます。締め切りは時期を考えますと、8月から12月くらいという感じです。</p> <p>最後のどういうパターンかということについては3案お示しいただきましたが、議論の結果、パターン3とパターン1の折衷案というかたちなのかという気がしています。やはり17日というのは非現実的である。</p> <p>ただし、やり方を工夫し、資料をご用意いただいて事前に委員にお配りいただきヒアリングがある程度必要でないのであれば、パターン3よりも評価するものを増やすことが出来るのではないかというご意見だったかと思えます。そんな形で次回お示しいただくことが出来ますでしょうか。</p>
副委員長	ベンチマーク指標として、ふたつ提示させていただきました。資料の中に書いてあるように、世論調査的な生活者の視点でのベンチマークと、全国なり県なりのデータと比較として、どこまで稲敷市のレベルを上げるべ

	<p>きかというベンチマークがあります。それはいわゆる拡充と結びつくのですが、政府が提供しているビッグデータを活用したものは作れるのですか。</p>
コンサルタント	<p>データをホームページからネット上から取ってくることは出来ます。市町村の比較を割と手軽に出来るようになってはいます。ただ、データの元が統計調査なので、国勢調査、経済センサス、工業統計など色々な統計調査から取ってきているものなので、若干タイムラグがある感じがします。</p>
副委員長	<p>あれば欲しいと思っています。まち・ひと・しごとが今回の売りになっているのでフォローしなければならない。もちろん戦略プロジェクトもあるけど。</p>
委員長	<p>いまおっしゃったデータであれば、統計でみる茨城県のすがたで事足りるのではないかな。</p>
副委員長	<p>茨城県は載っていても市町村は載っていないのではないかな。</p>
コンサルタント	<p>市町村早わかりであれば割と対応出来ると思います。</p>
委員長	<p>わざわざビッグデータを抜いていただいて、それ専用の資料をお作りいただく程ではない気がします。</p>
副委員長	<p>データで判断したい、その方が客観的。</p>
事務局	<p>副委員長がおっしゃっていることは、それぞれの項目に設定されている数値目標ではどうでしょうか。</p>
副委員長	<p>それは現状から少し伸びただけでそれを達成しても、人口減少の解消にはならない。</p>
コンサルタント	<p>そういう意味では、いばらき早わかりを横に置いて、早わかりの順位をバックデータとして持っておいて、事務事業を評価していただくのがあるべき姿かもしれません。</p>
委員長	<p>早わかりって県内しか載っていないので、他県との比較は出来ませんが、あれがあるだけで客観的な考え方出来ると思います。そういったこともご検討いただければと思います。</p> <p>というわけでそろそろお時間ですが、よろしいでしょうか。</p>

### (3) その他

委員長	<p>では、次回以降の進め方について確認させていただきます。もともと、この委員会6回計画していて6回目に市長に報告ということで、今日4回目ですから、次回が本格的な議論が出来る最終回。今日かなりたたき台に対する意見いただきましたので、それを踏まえて次回さらにたたき台的なものをご用意いただいて、それについて3人の委員を中心にまた議論させていただきます感じです。</p> <p>シミュレーションの話は結局どうなったのですか。</p>
-----	--

事務局	2月の全協に間に合わせるのであれば、次回のタイミングで我々の部局で作った資料でシュミレーションが可能です。他の課を呼んでやると大々的になってしまうので難しい。
委員長	確か回数増やすことは出来ましたよね。
事務局	出来ます。
委員長	どうでしょうか、もう1回増やしてそれをやるか、当初の計画通りか、どう思われます。
副委員長	私は大丈夫ですよ、もう1回やった方がいいという総意であれば。
委員長	やってもいいかなと思うのですが、どうですか事務局は。
事務局	大丈夫です。
事務局	副委員長がおっしゃった資料をこちらで用意して、それで本当に出来るのか、判断していただきたいと思います。
コンサルタント	ひとつのやり方としては、例えば午前中にシミュレーションをやって、午後にどうだったかという風に同日でやるということも可能。
事務局	あとは、資料を事前の会議までには間に合わせて、渡しておいて実際に見てみて、どうかというのをシミュレーションというのは出来ます。
委員長	どっちが良いでしょうか。回数を増やすことが1つと、午前中午後というのが1つと案があります。事前に資料をお送りいただいてあらかじめ見ていただいた上でというのが、それが回数増やさなくていい。
副委員長	全日でやるというのは避けてもらった方がいいと思います。時間は午前午後でやるにしても、丸1日かけるのは避けたい。 もらった資料をあらかじめ見て、当日は担当課と疑問点等について意見交換を行うということですよ。当日はヒアリングではなく、出した質問に対する回答をもらうとかやり方はあると思う。
委員長	シミュレーション専用の回をもう1回増やすか、それとも提言書のたたき台を議論するときに合わせてやってしまうか。
副委員長	それでいいのじゃないですか、一緒にやってしまっ。
委員長	では、事前にお送りいただく形で、それを我々が資料拝見します。提言書についてもそれについて議論するようにします。
事務局	我々も実施計画の調査票を持っていますので、我々の課でしたら柔軟に対応が出来ます。急遽ヒアリングをやってみようとなったら、このメンバーで回答できる事業であればシュミレーション出来るので、とりあえず施策評価のシミュレーションと事務事業評価のシミュレーションを、今仮に実施してみたらどうなのかというのを事前にやっていただきます。 次回は、それのお話も伺いつつ、提言書のたたき台もお作りしていただいたのを見ていただくようなイメージです。

委員長	よろしいですか。
副委員長	いいですよ。
委員長	ちょっと事務局お仕事大変になってしまいますが大丈夫ですか。
事務局	大丈夫です。
委員長	ではそのような形でお願いいたします。事務局から何かありますか。
事務局	シミュレーションと首長に渡す資料の確認ということなのですが、一応1月中に行いたいと思いますので日程の調整をお願いします。ただ時間の都合上でもう一度やりましようとなったときも踏まえて調整させていただきたいと思います。
委員長	万が一、もう2回やることもあるかもしれない日程を次に組むということでしょうか。
事務局	少なくともあと2回残っていて、1回は首長報告の会で予定しているので、全協は2月16日に予定されていますので、その前段までに首長報告していただいて、議会で今回の報告出来れば良いと考えるので、それをふまえると1月15日とか辺りの週が作業を考えると現実的だと思います。
委員長	それでは15日金曜日ということで、お時間はどうしますか。またいつも通りで大丈夫ですか。次回は1月15日の14時。
事務局	終わりの時間を今16時にしているのですが、17時まで延ばすことをご許可いただければ。
委員長	むしろ、その方がありがたいです。佐々木先生が午前中授業なので早めるのが難しいので、やるのであれば延長の方が。
事務局	では、14時から17時で。
委員長	では次回は1月15日14時で、その次が2月16日くらい。
副委員長	1月中にもう1回やる必要はないですか。
事務局	必要に応じてやります。
副委員長	2月あたまで間に合うのですか。
事務局	2月あたまでと相当ギリギリですね。
事務局	次の回までには首長の報告の素案報告の日にならざるご提案出来ると思います。あとはZoomの会議でも出来ますので、副委員長が環境無ければ私が直接お伺いして出来るようにしたい。次の回どうしても時間が取れない場合は、オンラインの対応も考えます。
委員長	とりあえずは、1月15日14時から17時がまず1回で、そのあとは2月の月上旬に最終回というところです。もしかしたら、その間にもう1回あ

	<p>るかもしれないで、それは日程が難しかったら Zoom, そんな感じでよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>報告書の取りまとめなどは郵送で出来上がったものを皆さんにお見せして、ご意見がなければそれでいいというのであれば可能です。あとは15日に感染が拡大して移動が制限されることが可能性として考えられますので、その時は Zoom を使って皆さんと会議出来るように環境設定させていただきたいと思います。</p>
副委員長	<p>そちらで決定するときは、外部評価委員の報告みたいな形で報告するのですか。それはどういう形で決定するのですか。庁議で決定する題名は。</p>
事務局	<p>そこまでは考えていませんでした。「稲敷市行政評価報告書」などを考えたいと思います。</p>
委員長	<p>それでは予定した議事はすべて終了いたしました。何かご発言、ご質問御座いますでしょうか。</p> <p>それでは何も無いようですので、本日第4回外部評価委員会の会議を閉会したいとおもいます。どうもご協力ありがとうございました。</p>

## 5. 閉会

事務局	<p>それでは、長時間にわたりご審議いただきましてありがとうございました。第5回の委員会は1月15日の14時からということでどうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、ご協力ありがとうございました。お疲れさまでした。</p>
-----	---

以上